

平成25年度 広報力強化セミナー 誰に何を伝えるのか 組織の広報戦略を考える

講師 ● NPO法人 OurPlanet-TV 代表 白石草氏

7月16日～17日に全国社会福祉協議会の主催による「平成25年度広報力強化セミナー」が開催されました。このセミナーは社協や福祉施設において、担当者が広報活動を実践的にすすめてい

くための広報・情報提供の知識を習得することやソーシャルメディアやマスメディアの活用を含めた広報戦略や展開について学ぶため開催されたものです。内容について、抜粋してお伝えします。

広報とは

広報とは、たくさんの人に伝えることを意味します。かつては「公的な情報」に限定された概念でしたが、今日では、PR（パブリックリレーションズ）とほぼ同意義で用いられることが多くなっています。

また、広報とは「まず自分を知る（自組織の強み／弱みを理解する）」ということ。広報を成功する＝組織が機能しているといえます。

広報の重要性

社協や福祉施設は地域住民やサービス利用者、関係者等に向けて広報を行っています。自分たちの活用やサービスを多くの人に伝えるとともに、発信した情報が賛同を受け、活動やその目的が地域の人たちに浸透していくことを目指したいものです。

広報をはじめのまえに

自分たちは何者なのかをイメージ付けるための基本的な事柄をプランデ

ングと言います。例えば、●ビジョン（活動が目指す展望や構想）●プロミス（社会や活動対象者に対する約束や宣言）●イメージ（社会に与えようと思定している印象）●リソース（自組織がもつ人的または経歴的な資産）などを整理してみましょう。

そうすることで自組織の魅力を発見できるかもしれません。

広報の目的を明確化

活動の基本的な事柄（ブランドイン）が明確になったら、広報したい事柄を整理しましょう。●何のため（知名度アップ、活動の活性化、キャンペーンなど）●誰に（広く一般に、ボランティア希望者、関係者など）●何を（寄付の募集、参加募集、問題提起など）●目指す効果は↓結果としてミッション達成に近づくこととなります。

広報の手法

広報をする際は、目的や内容によ

て、どのような広報をすればよいか、戦略やスケジュール、コスト等を明確にする必要があります。めざす姿（目標）によって、広報の仕方は変わってくるので、複数方法を組み合わせることも必要です。

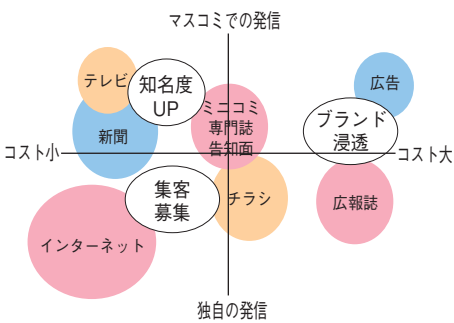
広報計画

広報の仕方が決定したら、スケジュールや内容を確認します。例えば、イベントを開催する場合、3か月前に機関誌への原稿を執筆し、2か月前にウェブサイトに掲載、1か月前に新聞のイベント告知欄への掲載依頼をファックスで送り、残り2週間でメルマガに掲載、ツイッターを活用している場合には、直前まで広報を行うというイメージです。

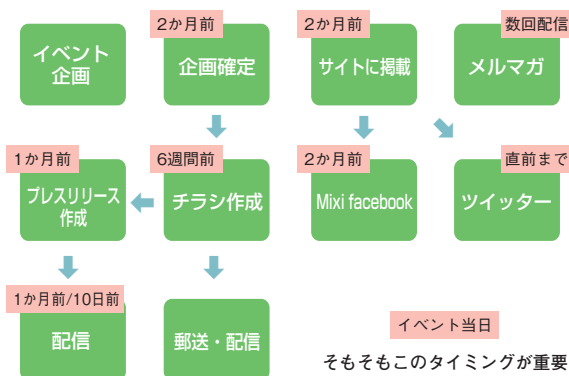
広報戦略のポイント

●タイミングと時代性と先進性、例えば、テレビや新聞が取り上げている事柄に関連していれば、メディアの関心呼びやすく取り上げる可能性も高まりますが、話題の時期を過ぎてしま

広報の手法を決める



広報計画をたてよう(集客)



媒体の特徴

	メディアの種類	対象	特徴	ポイント
マスコミ	新聞	比較的高齢	信頼性が増す、新しい層の開拓に有効	知名度アップ
	テレビ	比較的高齢	選求力は圧倒的	知名度アップ
	ラジオ	高齢者中心	丁寧な扱う可能性高	繰り返し出演可
	専門誌	関心層	業界へ影響を与える	記者との関係重要
インターネット	フリーペーパー	関心層	掲載率が高い	イベント告知向
	ウェブサイト	関心層・会員	詳細まで記載が可能	イベント告知向
	メルマガ	関心層・会員	定期的に直接お知らせできる	イベント告知向
	投稿サイト	関心層	ターゲット別に投稿できる	イベント告知向
	SNS	若年層	口コミ効果で情報が拡散しやすい	イベント告知向
紙媒体	機関誌	地域全戸	魅力的であれば選求力大/コスト大	全てに有効
	チラシ	関心層	配布場所に左右される	イベント告知向
	ポスター	広く一般	掲示板に左右される	キャンペーンなど
	ダイレクトメール	会員・関係者	手にとる可能性高	全てに有効

皆さまのご支援ありがとうございます

●被災地支援事業への寄付

トヨタ自動車と会員会社で組織される団体「協豊会」(信元久隆会長 事務局愛知県)より、会員から募った物品(不要携帯電話や書き損じはがき、切手、図書カード、テレホンカード、ベルマーク等)による被災地支援活動への寄付をいただきました。

このうちベルマークについては、被災を受けた沿岸の小学校2校へ寄贈。その他の物品は、昨年度より集計作業・換金を行った結果、総額5,876,714円となりました。

この寄付金は、本会の東日本大震災の被災地支援事業のために活用させていただく予定です。

●使用済み切手とプリペイドカードを寄贈

7月23日に岩手銀行労働



組合の斉藤忠洋執行委員長と井上桂吾書記長が当会を訪れ、使用済み切手3,960gとプリペイドカード1,481枚を寄贈いただきました。同組合からは2003年度から毎年寄贈いただき、今回で11回となります。

この切手などは「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部(国内輸送費)として役立つ予定です。

●使用済み切手と葉書を寄贈



7月8日に岩手県食肉衛生検査所(白岩利恵子所長)の三浦史人検査指導課長が当会を訪れ、使用済み切手3,122枚と葉書約30枚を寄贈いただきました。

この切手などは「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部(国内輸送費)として役立つ予定です。

●データを抑える「客観性と信頼性、人々が関心を寄せそうな事柄でも、その論拠となるデータや取り組む理由が信頼できなければ、メディアは取り上げることに躊躇します。もしも、あまり知られていないことについて取り組むときには、取り組む課題やジャンルについての全体像を示すとともに、信頼できるデータ(学術調査や

った事柄は、たとえ珍しい取組みでも取り上げない可能性があります。メディアには新鮮なネタを追いかけられる習慣があるからです。「世界初・日本初・県初」などどんな規模であつても、「一番・初めて・最大」にあてはまる場合は、必ずそれを明記して注目を集めましょう。

※9月号でもこのセミナーの内容をお伝えします。

使用テキスト…「平成25年度広報力強化セミナー」

客観的に評価された独自データなどや資料を示すことで信頼性を高めましょう。

●横の連携・関係団体とのネットワーク、ユニークなまたは有意義な活動をしているにもかかわらず、取り上げられないときには、同じような取り組みを行っているグループと一緒に広報しましょう。同じ趣旨の活動、関連した活動として広報することで、大きな記事として取り上げる可能性が高まります。

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

①基本補償

- 基本補償(A型)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
- 見舞費用付補償(B型)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実

- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

- 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆スケールメリットを活かし、充実した補償内容です。

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。



プラン2 施設利用者のための補償

(普通傷害保険)

- ①入所型施設利用者の傷害事故補償
- ②通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

- ①施設の労災上乗せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体
契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

取扱
代理店

株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763